

B 個別学習 (B 1)

主な学習活動

カードに時間や時刻の求め方を表現し、説明する。カードを活用して単元の学習の振り返りをする。

1 本時のねらい

学習したことを生かし、時間や時刻の求め方を考えてカードに表現し、説明することができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

ファイル共有

プレゼンテーション

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

ミライシード「オクリンク」のカードで問題を解いたり、考え方を共有したりすることで、友達の考えのよさに気付くことができる。4色のカードを選んで振り返りを行うことで、視覚的に捉えやすくする。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開 まとめ	カードに時間や時刻の求め方を表現し、説明する。カードを活用して単元の学習の振り返りをする。	(展開) オクリンクのカードを用いて、時計の問題を配付し、解き方や考え方を図や言葉、式で書けるようにする。カードをライブモニタリングで提示し、考え方を全体で共有することで、友達の考えのよさに気付くことができるようにする。 (まとめ) 単元の学習の振り返りをオクリンクのカードを用いて行う。4色に分けたカードを選べるようにすることで、視覚的に捉えやすくすることができるようにする。

タブレット

+

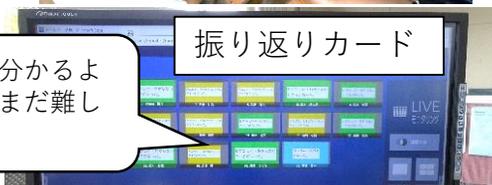
電子黒板



図にかいて考えてみよう。

友達の考えを聞いて分かるようになったよ！でもまだ難しいところもあるね。

振り返りカード

**4 活用効果**

時計の学習に対して苦手意識をもった児童が多くいたが、カードに式や図をかき込んで考えたり、友達と考えを共有したりすることで、問題に意欲的に取り組むことができた。タブレットのカードを見せ合うことで進んで説明する姿も多く見られた。4色の振り返りカードの中から1枚を選んで全体で共有した振り返りと、自分のノートに書く振り返りを行うことで、一人一人の学びの変容を捉えることにつながった。視覚的にも捉えやすく効果的だった。

5 アドバイザーからのコメント

時計の学習において、文章、数式、図などいろいろな表し方があり、それぞれの子どもの特性によって選択しています。それは、表現方法や解き方は、それぞれの子どもの頭に分散されているとも言えます。インターネットと同じように、それらを集合知として共有できるのです。(東京工業大学 赤堀侃司)

振り返りの場面において状態把握をしやすくする工夫は効果的と考えます。個別の学びと協働的な学びをつなぐ工夫として、身の回りにある時計を児童が適宜撮影し問題とすることなども考えられます。こうした機会を活用し、情報モラルの指導場面とつなげていくことも期待できます。(福島大学 平中宏典)